

民間月面探査プログラム「HAKUTO-R」改良点の特定完了、来年に第2弾打ち上げ

# 日本の民間企業、月面を再びめざす



©ispace

## 挑戦は終わらない

日本の宇宙ベンチャー運用を続けたものの、推進「ispace(アイスペー)系の燃料が尽きた時点で姿勢制御を含む動力降下制御定している民間月面探査プログラム「HAKUTO-R」のミッション2、そして後続するミッション3を計画通り行う。月面着陸まであと一歩と迫った知見と改良点を生かし、再び月へと挑む。

今回のミッション1では、同社が開発したランダー(月着陸船)は昨年12月に打ち上げられ、今年4月26日に月面着陸をめざした。高度約5キロメートルまで接近が確認されたが、軟着陸には至らなかった。

同社はランダーのフライトデータを解析し、軟着陸できなかった原因を特定。着陸予定地に向けて航行中、クレーターの縁の急激な高低差を異常値と判断した結果、月面高度約5キロメートルに対して、ランダーが自己の推定高度をゼロと判断したことが分かった。その後も低速での降下

## さあ、Mission2へ。

Mission1で得た成果を踏まえて、Mission2ではランダーによる月面輸送や月面データサービス等を更に進歩させていきます。

# 月に挑み続けるのは、 探査機より大きなものを 乗せているから。

月面着陸。月面探査。

そしていつか、月をあなたの生活圏に。

色々なリスクに立ち向かって。多くの人から力をもらって。

この難しいミッションに挑むのは、

私たちのランダーに「人類の未来」という

とても大きなものを乗せているから。

Mission1で得られた沢山のデータや知見を活かし、

これからも歩みを止めずに挑戦し続けます。

